

前ノ狀態ニ回復スルノハ、支那政府及人民ノ最も欣然希望スル所ダカラ、自ラ備警ノ組織ヲナシ、日本ノ鐵道沿線軍隊ト更替シ、全鐵道ノ安寧ヲ維持スベシ、尤モ此點ハ青島還附問題ノ解決トハ別事デアル、惟フニ日本政府ハ必ズヤ其實行ノ期ヲ遅延シテ、爲メニ支那國民及世界看視ノ誤解ヲ繁カラシメヌガラウ、日本政府若シ戰時一切ノ軍事上ノ施設ニ付、其政策ニ和シ以テ平和ヲ回復スルヲ開示セバ、支那政府ハ方ニ地方官ニ訓令シ日本領事官等ト折衝辦理セシムベシ、ト云フ極メテ暴慢非禮ノモノデアル。小幡公使ハ六月十四日長文ノ覺書ヲ送ツテ之レニ應酬シ、斯クシテ山東問題ハ華府會議迄其儘ト成ツテ居タ。

第三十三章 獨逸植民地ノ處分

委任統治ニ關スル「ウキルソン」大統領ノ考案

本節デハ獨逸植民地ノ處分即チ委任統治ニ關シテ少シ書テ見ヨウト思フ、委任統治制度ニハ遍ク知ラレテ居ル通りA、B、Cノ三式ガ在ル、A式ハ舊土耳其帝國ノ一部地方ニ施行セラレ、B式トC式トガ舊獨逸植民地ニ適用サレタ、日本ノ引受ケタ南洋諸島ノ委任統治ハC式ダカラ、之レニ付テハ多少細カク述ベルコトニスル。

獨逸植民地ノ問題ガ巴里講和會議ノ議ニ初メテ上ツタノハ大正八年一月二十四日ノ最高會議デ、先ヅ「ロイド、ジョージ」首相カラ獨逸植民地ノ不還附ニ異存ガアルカト質問シタラ、全員異存ナシト答ヘ、之レデ該植民地ノ運命ハ主義上決定シテシマツタ。ソコデ同首相ハ其處分方法ニ關シテ發言シ、之レニハ二案アル其一ハ國際聯盟支配ノ下ニ管理スル案デ、斯クスレバ各國ノ爲メニ右地方ヲ利用シ又濫用ニ流レル弊ガナイカラ、獨逸時代ノ様ナ暴虐ノ行ハレル虞ガ無イ。若シ不服ノアル者ハ聯盟ニ訴ヘル事モ出來ル、然シ結果カラ見レバ英國現在ノ植民地デ其土地濫濫ヲ他國ニ開放シテ居ルノト同様デアルカラ、實際ニハ餘リ選ブ所ハナイ、其二ハ併合案デ、獨逸南西阿弗利加ハ英領南阿ニ接屬スルモノトシテ當然英領ニ加ヘ、「ニューヨーク」ニ對スル濠洲ノ要求モ承認サレルノガ至當ト思フト述ベタ。夫レカラ濠洲ノ「ヒューズ」首相、南阿「ス

マツツ」國防大臣、「ニュージラランド」ノ「マツセイ」首相、加奈陀「ボーデン」首相各其要求ヲ開陳シテ當日ノ最高會議ヲ終リ、二十七日ニハ牧野全權ヨリ日本ノ要求ヲ述べタ。此日「ウキルソン」大統領ハ委任統治制ニ關シ其所見ヲ披瀝シタガ、之レガ要領ハ大體左ノ通りデアル。

國際聯盟ガ受任國ヲ選定シテ之レニ植民地ノ統治ヲ委任セムトノ案ハ、今以上ノ領土併合ヲ否認スル世界的感情ニ基クモノデアル、獨逸植民地ヲ返サヌコトハ既ニ決定済ダカラ、此未開ノ土地人民ヲ開發誘導スル爲メ、何カ方法ヲ案出シナケレバナラス、例ヘバ南西阿弗利加ノ現狀トシテハ南阿聯邦ニ屬サセルカ又ハ其住民ノ利益ノ爲メニ之レヲ開發スル制度ヲ發見セネバナラス、南阿聯邦ヲ南西阿弗利加ノ受任者トスル場合ヲ假定スレバ、國際聯盟カラ、施設ハ住民ノ狀態改善ノ見地ヨリスルコト、同地方ノ資源利用ニ付テハ聯盟國ニ對シ何等ノ偏頗無キ様スルコト等ノ大體ノ方案ヲ設ケ、南阿聯邦ハ右ノ方針ノ下ニ自國法律ヲ出來得ル限り南西阿弗利加ニモ及ボシ、且ツ住民ノ利益ト一致スル限り聯邦ノ附從トシテ之レヲ統治スルノデアル、行政ノ費用ニ付テハ財政上ノ協定ニ依ルベキデ、若シ關稅ヲ包含スルトスレバ南西阿弗利加ト貿易スル各國ニ對シ一樣デアルト共ニ、各國ハ之レト自由ニ交通貿易スルノ權利ヲ有スベキダ、故ニ特惠關稅ノ主義ヲ委任統治域ニ適用スルコトハ出來ヌ、然シ此點ヲ除ケバ併合ト差異ハ無イ、受任國ハ種々其感情ヲ刺戟サレル様ナ事件ニ逢着シ、又聯盟カラ絶エズ干涉ヲ受ケルダラウトノ懸念ガアルカモ知レヌガ、受任國ガ満足ニ其義務ヲ盡セバ別段ノ面倒ハ起ラヌ、若シ財政上ノ負擔ガ生ズル如キ場合ニハ、聯盟各國ガ一定ノ割合デ費用ヲ分擔スルノモ一案ダ、要スルニ委任統治ハ住民ノ眞ノ希望ヲ確カメ得ル時迄、

世界一般ガ受任國ヲ通シテ全行政ヲ行ハムトスルモノデアル、若シ此委任統治ヲ目シテ併合ニ導ク假裝ニ過ギスト爲スモノガアレベ、之レハ大ナル誤リデアル、世界環視ノ間ニ於テスル委任統治ニ於テ、不公平ノ措置ハ決シテ出來ヌ、之レニ反シテ公平ナル手續ニ依リ受任ニ併合サレルニ至ル場合アリトスレバ、余ハ決シテ之レニ反對スルモノデハナイ。

之レニ對シテ南阿及濠洲ハ再ビ併合說ヲ述べ、殊ニ「ヒューズ」首相ハ何故一國ノ政府ヲ超越シタ國際聯盟ニ委託サレル一種ノ邦土ヲ作ル必要ガアルノカ、濠洲ノ現狀ハ濠洲人ガ濠洲ヲ支配シ得ル能力ノアルコトヲ立證シテ居ル、此濠洲ノ權利ヲ差措イテ國際聯盟ニ委託セントスルノハ適當デナイ、米國大統領ハ世界ノ人心ハ領土併合ニ反對ダト云フガ、各國ガ今日講和條約デ處決ショウトスルモノハ領土問題ニ外ナラヌ、「アルナス、ローレーヌ」ハ回復ダトノ事故別問題トシテ、其他ハ總テ領土併合ノ問題デ、輿論ガ之レニ反對シテ居ルトハ思ハレヌ、吾人ハ濠洲地方ノ事情ニ通ジ居リ「ニューギニヤ」等ノ諸島ヲ支配スルニ最モ適任ダト信ズルカラ、先ヅ以テ吾人ヲシテ支配サセ、濠洲ノ不適任ガ明白ト成ツタラ、其時ニ聯盟ニ委任スベキダト述ベタ。

「ロイド、ジョージ」首相ハ委任統治案ノ内容ヲ今日始メテ米國大統領カラ聞イタガ、本案實際ノ運用如何ニ付テハ植民地政治ニ經驗アルモノノ意見ヲ徵スル必要ガアル、例ヘバ受任國ノ政治費用ハ何人ガ負擔スルカ、又國防費モ入ダト指摘シタラ、「ウキルソン」大統領ハ自分ノ提議ハ現ニ英國ガ其植民地ニ對シテ行ツテ居ル所ヲ全世界ニ實行セントスルノデ、夫レニ付今直ニ専門家ノ意見ヲ徵スル必要モアルマイト述ベタ

ガ、「ロイド、ジョージ」首相ハ同夜英國植民地政治家ノ意見ヲ聽取シ、二十八日午前ノ最高會議デ其結果ヲ報告シテ、濠洲、新西蘭等ノ要求ニ付テハ特ニ大統領ノ考量ヲ煩ハシタイ、尤モ英國ノ一般兵力デ占領シタ獨逸植民地ニ大統領ノ意見ヲ適用實施スルコトハ必ズシモ不可能デハ無イカト思フト告ゲタ。午後ノ會議デ佛國植民大臣「シモン」氏ハ「トーゴランド」及「カメルーン」ノ併合ヲ要求シタガ、「ウ」大統領ハ英本國人ノ占領地丈ケヲ委任統治ノ下ニ置イテモ、他ノ獨領ニ付濠洲、新西蘭、南阿、日本、佛國共ニ委任統治ニ反對スル以上、本問題ハ實行不可能トナリ、結局獨逸植民地ハ關係大國割取ノ目的物ト成ツテ終フ、斯クテハ戰前不安ノ狀態ハ依然繼續セラレ、各國軍備ノ爲メニ多大ノ出費ヲ要シ、國際間從來ノ猜疑ヲ其儘殘存スルコトナル、吾々ハ空前ノ危險ニ堪ヘ此大戰ヲ敢行シナガラ、今日尙ホ國際聯盟ヲ成就シ得ヌニ於テハ、天下哄笑ノ標的トナルノミナラズ又千秋ノ恨事デアルト述ベタ。「クレマンソー」首相之レニ答ヘテ、自分ハ必ズシモ「シモン」氏ノ說ヲ支持スルノデハ無イガ、所謂國際聯盟ノ意義ニ二種類アル様ニ見ヘル、其一ハ世界平和擁護ノ爲メノ聯盟デ、其二ハ聯盟ヲ政府ノ一機關ト爲サムトスルニ在ルガ、第一義ノ國際聯盟ニ對シテハ衷心カラ之レヲ歡迎スルモ、第二義ニ付テハ左袒スルコトガ出來ヌ、例ヘバ受任國ガ一地域ノ統治ヲ委任シタ國カラ指令ヲ受ケナケレバナラヌトスレバ、聯盟ハ常ニ受任國ニ干涉シ、其自由活動ハ阻止サレルガラウ、今日五大國ノ同盟ハ云ハバ一ノ國際聯盟デ、吾人ノ認諾ガ無クテハ何國ト雖モ暴威ヲ擅ニスルコトハ出來ヌ、若シ吾々ガ斯クノ如キ場合ニ協力事ニ當ル決心ガアレバ、特ニ政府ノ機關トシテノ國際聯盟ヲ設ケルニ及バヌコトト思フト告ゲタ。「ロイド、ジョージ」首相ハ「ク」氏第一義ノ國際聯盟ノ下ニ受任

國ヲ作ルコトモ出來得ル様ニ考ヘル、例ヘバ先ヅ其權限ヲ定メ、實行セヌ場合ニ聯盟ガ干涉スルノモ一案ダ要スルニ植民地問題ノミナラズ總テノ問題ヲ今日ノ如ク永ク不安ノ狀態ニ置クノハ甚ダ困ル、少クモ英國ハ現ニ高加索、小亞細亞、「シリヤ」、東阿弗利加等ニ多數ノ兵力ヲ有シ、一日モ早ク其撤退ヲ欲シテ居ルガ、是等諸地方ノ處置未定ノ爲メ不本意ナガラ今尙ホ駐屯サセテ居ル様ナ現状ダカラ、一日モ速カニ本問題ノ解決ヲ希望スルト述ベタ。

英國ノ具體案

以上ノ討議ヲ經テ一月二十九日ノ最高會議ニ英國ハ左ノ決議案ヲ提出シタ。

一、獨逸帝國ノ一部分ヲ構成スル各植民地ニ於ケル獨逸統治ノ治績ニ鑑ミ、且ツ世界幾多ノ方面ニ於テ獨逸ガ潛水艇根據地ヲ所有シ各國民ノ自由安寧ヲ侵迫セル事實ニ顧ミ、聯盟各國ハ如何ナル事情アリトモ獨逸ノ植民地ハ一切之レヲ獨逸ニ返還セザルベキコトヲ約定ス。

二、右ト同様ノ理由ニ依リ、殊ニ土耳其ガ其從屬人民ニ對スル傳來的ノ虐遇、並ニ近年ニ於ケル「アルメニヤ」人殺戮等ノ事實ニ鑑ミ、聯盟各國ハ茲ニ「アルメニヤ」「シリヤ」「メソポタミヤ」「パレスタイン」及亞刺比亞ヲ、今回ノ提案ニ基キ土耳其帝國ヨリ全然分離セシメザル可ラズトスル意見ニ一致セリ右ノ處置ハ土耳其帝國ノ他ノ部分ニ關スル取極ニ對シ何等ノ障害タルコトナシ。

三、獨逸並ニ土耳其所屬及領域ニシテ近代世界ノ激甚セル生活狀態ノ下ニ未ダ自立シ得ザル人民ノ居住ス

ルモノニ對シテハ、聯盟各國ハ今ヤ彼等ノ必要ニ基キテ生ジタル機會ヲ捉へ、是等人民ノ福祉及發達ヲ計ルハ文明ノ神聖ナリ使命ナリトスル原則ヲ是等地域ニ適用シ、本使命遂行ニ關スル保障ハ之レヲ國際聯盟ノ憲法中ニ包容セシムベキコトヲ協定ス。

四、聯盟各國ハ慎重ナル審議ノ結果、此主義ヲ實現スル最善ノ方法ハ、該人民ニ對スル後見ノ任務ヲ、先進國ニシテ資源、經驗又ハ地理的位置ニ因リ最モ此責任ヲ引受クルニ適シタルモノニ委任シ、之レヲシテ聯盟ニ代リ受任國トシテ、右後見ノ任務ヲ行ハシムルニ在リト信ズ。

五、同盟及聯合諸國ハ委任ノ性質ニ付テハ人民發達ノ程度、領土ノ地理的地位、經濟狀態、其他類似ノ事情ニ從ヒ、差異ヲ設クルヲ要スト思惟ス。

六、同盟及聯合諸國ハ從前土耳其帝國ニ屬シタル或部族ハ獨立國トシテ假承認ヲ受ケ得ル發達ノ程度ニ達シ居ルモノト認ム、尤モ其自立シ得ル時期ニ達スル迄、施政上受任國ノ助言及援助ヲ受クベキモノトス前記受任國ノ選定ニ付テハ、主トシテ當該部族ノ希望ヲ考慮スルコトヲ要ス。

七、他ノ人民殊ニ中央阿弗利加ノ人民ハ、受任國ニ於テ其地域ノ施政ノ責ニ任ズベキ程度ニ在リ、尤モ奴隸ノ賣買又ハ武器若ハ火酒類ノ取引ノ如キ弊習ヲ禁止シ、並ニ警察以外ノ爲メニスル土民ノ軍事教育及築城又ハ陸海軍根據地ノ建設ヲ防止スベキコトヲ保障シ、且ツ聯盟國ノ通商貿易ニ對シ均等ノ機會ヲ確保スルヲ要スルモノト認ム。

八、最後ニ例ヘバ南西阿弗利加及或ハ南太平洋島嶼ノ如キ地域ハ人口ノ稀薄、面積ノ狹少、文明ノ中心ヨ

リ遠キコト、又ハ受任國領土ト隣接セルコト、其他ノ事情ニ因リ、受任國領土ノ構成部分トシテ、其國法ノ下ニ施政ヲ行フヲ以テ最善トス、但シ受任國ハ土着人民ノ利益ノ爲メ前記ノ保障ヲ與フルコトヲ要ス。

前記各委員ノ場合ニ於テ、受任國ハ其委任地域ニ關スル年報ヲ、國際聯盟ニ提出セザル可ラズ。

之レハ「ロイド、ジョージ」案ト稱セラレルモノデ聯盟規約第二十二條ノ基礎デアルガ、此案ヲ作ル時又ハ之レヲ最高會議ニ提出前英國側カラ米國ニ内示シタイ模様ハ無イ、畢竟濠洲其他併合論ヲ唱フル英國自治領ニ満足ヲ與フルト同時ニ、豫テ「ウキルソン」大統領ガ土耳其ノ地方ニ委任統治制度ヲ適用セントスル意見ヲ抱イテ居タカラ、之レニ關スル規定ヲモ加ヘテ其意ヲ迎へ、本件ノ圓滿解決ヲ期シタ英國獨自ノ創案ダト思フガ、之レヲ初メテ討究シタ一月三十日ノ最高會議デ「ウキルソン」大統領ハ、委任統治問題ハ國際聯盟ガ成立シタ上デ、受任國ノ選定ヤ其權限ヲ確定スルヲ要スルカノダカラ、今直チニ決定スルコトハ不可能ダト述ベタ。「ロイド、ジョージ」首相ハ憤然トシテ若シソウナラ一ツモ問題ヲ取極メルコトハ出來ナクナルト指摘シタラ、大統領ハ最後ノ決定ハ聯盟ガスルノダケレド、夫レ迄ハ假リノ協定トシテ英國案ヲ承認シテモヨイト答へ、「オルランド」首相ハ伊太利ニモ委任地方ノ割當ガ在ルコトト信ズル旨ヲ述ベ、「クレマンソー」首相ハ今迄自分ハ國際聯盟ヲ未來ノ戰爭豫防機關ダト思フテ居タガ、英案ハ之レヲ全世界ニ亘ル大政治機關トスルモノダト聊カ腑ニ落チヌ色ヲ示シタ。牧野男爵ハ腹藏ナク云へバ日本政府ハ聯盟ノ運用ニ付テハ確信ヲ有シテ居ラヌガ、列強ガ誠意ヲ以テ考慮シツツアルカラ、日本モ協力ヲ辭セヌ次第デアル、委任

統治ノ件ニ付テハ過日米國大統領ノ主義的説明ガアリ、今回「ロイド、ジョージ」首相ノ具體案ニ接シタカラ、早速政府ニ請訓シタ、其返事ノ來ル迄確答ハ出來ヌガ、自分限りノ考ヘデハ同意シ得ルト思フト述ベタ。同日午後ノ會議デ濠洲及「ニュージラランド」兩首相ハ「ロイド、ジョージ」案ニ同意スルノガ其最後ノ讓歩ダト云フタノデ、「ウキルソン」大統領ハ大イニ感觸ヲ害シ憤然トシテ之レハ最後通牒ヲ意味スルノカト詰問シ、種々意見ノ交換アリタル後、加奈陀「ボーデン」首相カラ原案第七項ハ警察ノ目的ニ限り土民ニ軍事教育ヲ施シ得ルコト成ツテ居ルガ、委任地域防備ノ爲メニモ之レヲ施シ得ルトスルノガ當然ダト提議シ、會議ハ之レヲ理由アリト認メ此追加ヲ爲スニ決定シタ、此ニ於テ「クレマンソー」首相ハ地域防備ノ意義ニ關シ土民兵ト雖モ母國ノ防備ニ當リ得ルコトト解釋スル旨ヲ述べタラ、「ロイド、ジョージ」首相ハ此規定ハ從來ノ權利ヲ其儘存續サセルノデ、只侵略ノ目的ノ爲メニ黑人ノ大軍ヲ訓練スルコトヲ防止セント欲スルニ過ギヌト答ヘ、會議ハ「ク」氏ノ解釋ヲ承認シ、斯クシテ委任統治ニ關スル英國案ハ最高會議ヲ通過シタ。

聯盟委員會ニ於ケル經過

國際聯盟委員會ニ提出サレタ「ウキルソン」大統領ノ聯盟規約原案ニハ、第十七條トシテ委任統治ニ關スル抽象的規定ガ掲ゲラレテ居タ、聯盟委員會ハ一月二十五日ノ講和會議總會議デ構成セラレ、其第一回ノ會合ハ二月三日ニ催サレテ居ルカラ、此「ウキルソン」案ハ英國ガ最高會議ニ委任統治案ヲ出ス前ニ起草サレタ

モノダト思ハレル、聯盟委員會ハ「ウキルソン」案ヲ基礎トシテ逐條討究ヲ進メ、第十七條ガ初メテ議ニ上ツタノハ二月八日第六回會議デアルガ、此時「スマツツ」將軍ハ一月三十日最高會議デ可決サレタ英國案ヲ提出シ、又「レオン、ブルジョア」氏ハ「ウキルソン」案ニ類似ノ主義的規定ヲ出シタ、「オルランド」首相ハ抽象的規定ヲ支持シタガ、「ウキルソン」大統領ハ「スマツツ」案ガ最高會議ノ決定ナルコトヲ述ベ其通過ヲ慫慂シ、委員會ハ該案ヲ可決シテ聯盟起草委員會ニ廻附シタ、此「スマツツ」案ニハC式委任統治條項中曩ニ最高會議デ決定シタ「構成部分トシテ」(§)ノ所ガ「恰モ構成部分ノ如クニ」(§)ト成ツテ居ルノデ、牧野全權ハ之レヲ指摘シタラ、「ウキルソン」大統領ハ「ニ」ヲ附ケ加ヘヌト單純ナル併合ト區別ガ無クナルト答ヘタ、牧野男ハ委任統治ニハ一定ノ條件ガ附イテ居ルシ、又受委任國ハ毎年報告ヲ出ス義務ガアルカラ、併合ト混同サレル虞ハナイ、原來最高會議デ可決サレタ規定ハ一種ノ妥協案ナノダカラ、之レヲ變更サレテハ困ルト述べ、英國委員モ賛成シタノデ、「ウ」大統領モ遂ニ「ニ」ノ削除ニ同意シタ、聞ケバ英國側デハ最初最高會議ノ決定其儘ヲ聯盟委員會ニ出ス積リダツタガ、大統領ガ「ニ」ノ追加ヲ連リニ請求シタノデ已ヲ得ズ其希望ヲ容レタノダト云フコトダ。

獨逸植民地及舊土耳其帝國所屬地域以外ノ土地ト委任統治

尙ホ二月八日ノ聯盟委員會ニ大統領ハ平和條約ニ豫見サレテ居ヌ地方デ未ダ自主國ヲ作り得ヌ人民ニモ本條ヲ適用シ得ルトノ追加規定ヲ提出シ、右ハ專ラ委任統治條項ノ適用ヲ舊露西亞帝國ニ屬セル或地域ニ擴張セ

シメ得ルヲ目的トスルモノダト説明シタ「スマツツ」案ハ英國原案第三項カラ書キ出シテ、獨逸植民地及舊土帝國所屬地域ト制限的ニ記載シテ在ツタ此冒頭ノ文句ヲ、聯盟起草委員會ガ「今次ノ戰爭ノ結果從前支配シタル國ノ統治ヲ離レタル植民地及領土」ト抽象的文句ニ變更シタノハ、一項ヲ追加セズニ大統領ノ希望ヲ受入レタノダト見ルベキデアル。

委員會ニ於ケル聯盟規約ノ第一讀會ハ二月十日ノ第七回會議デ終了シ、引續キ第二讀會ニ移リ、二月十三日ノ第十回會議デ之レヲ終リ、翌十四日ノ總會議ニ報告シタ後、規約案ハ公表サレタ、委任統治ニ關スル規定ハ第二讀會デ多少字句ノ變更ヲ受ケタガ、此時白耳義ノ「イーマンス」外相ハC式地域デモB式地方ト同ジ様ニ聯盟各國ニ均等待遇ヲ保障スベキダト主張シタラ「スマツツ」將軍ハ本案ハ最高會議デ大論戰ノ末漸ク纏マツタノダカラ、委員會デ論議セヌ様ニシテホシイト注意シ、其後三月二十二日カラ再會サレタ聯盟委員會デハ此規定ニ少シモ手ヲ觸レナカツタ。

第三十四章 委任統治ノ細目

獨逸植民地ノ拋棄ニ關スル總括規定

委任統治ニ三式アルコト、A式ハ聯盟規約第二十二條ノ第四項、B式ハ第五項、C式ハ第六項ヲ基礎トスルコトハ人ノ皆知ツラ居ル所デ、A式委任統治ハ舊土耳其帝國所屬地域ニ關スル事ダカラ、之レハ追テ土耳其トノ條約ヲ述ベル機會ニ讓ル方ガ至當ダト思フ。B式トC式ノ委任統治ハ悉ク舊獨逸植民地ニ割當テラレタノダガ、其細カイ事ハ聯合國間デ取極メレバ足リルノダカラ、獨逸ニ對シテハ植民地ヲ一括シテ聯合國ニ拋棄サセサヘスレバ充分ダ。「ヴェルサイユ」條約第百十九條「獨逸國ハ其海外屬地ニ關スル一切ノ權利及權限ヲ主タル同盟及聯合國ノ爲メニ拋棄ス」ト云フ規定ガ夫レデアル。

受任國ノ一部決定

五月七日獨逸ニ講和條件ヲ渡シタ直後ニ開カレタ四頭會議デ、「ロイド、ジョーシ」首相ハ獨逸植民地ノ受任國ヲ速カニ決定センコトヲ突如要求シタ、是レハ英國内政上ノ關係カラ一日モ早ク受任國ヲ公表シタイカラデ、又主要聯合國間ニハ既ニ大體ノ纏マリハツイテ居ルカラ、該會議ハ即刻左記ノ決議ヲシテ、直チニ之レヲ公表シタ。